

三沢市立三沢病院 内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 6年 大久保智哉

2026年4月20日から5月22日までの1ヶ月間、三沢市立三沢病院の内科で実習をさせていただきました。消化器内科の鈴木先生と研修医の小野寺先生のもとで、外来、内視鏡検査、救急対応、回診と、内科診療の幅広い場面に携わらせていただきました。今までの臨床実習でも1番回れて良かったと思えるような非常に密度の濃い1ヶ月となりました。



この実習で最も印象に残ったのは、ダブルバルーン内視鏡の見学でした。小腸の検査といえばカプセル内視鏡だと考えていた私にとって、初めて学習したダブルバルーンを実際に見ることが出来たことはとても幸運なことでした。なかでも、Roux-en-Y再建術後の患者さんにダブルバルーンを用いてERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）を行う場面では、再建によって消化管の走行が通常と大きく変わるため難易度が上がることを知りました。そもそもRoux-en-Yかどうか実際に内視鏡を入れて消化管の走行を確認しなければならず、普段の勉強では見逃しがちな現場ならではの難しさをその場で見学することができたため非常に貴重な経験になりました。

今回の実習が充実したものになった理由は、このような貴重な機会を与えてくださっただけではありません。常に学生が目線に立ちどんな素朴な疑問にも快く答えてくださった先生方の存在もより充実した実習になった要因の1つだと考えております。本当に感謝してもしきれません。

この1ヶ月で得た学びは、知識としてだけでなく、自分がどのような医師を目指したいのかを考えるうえでも、かけがえのないものとなりました。ご多忙の中、温かくご指導くださった鈴木先生、小野寺先生をはじめ、研修医の先生方、看護師の皆様、コメディカルの皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

実習期間：2026.4.20～2026.5.22